夕刊
磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島県磐城市潜延五一
電話387番
編集兼発行人 鑑村 清

消防ポンプ購入
小名浜第一分團で三年越の懸案解決

磐城市消ぼう団第一分団分団長小野安吉氏等八名は、昨十九日午前市役所に中田じよ役、阿部総務課長を訪ね、消ぼうポンプの購入の要請を行い、豫算五十万円を以て消ぼうポンプ一台を購入することになつた。

現在磐城市の消防施設は消防署の消ぼう自動車三台が常備され、磐城市全地域の防火作業に従うことになつている。

これと併行して消防団が各地区（小名浜、江名、鹿島、渡辺）に設けられ、火災、その他有事の場合に備えられている。

一方消防水利は小名浜地区だけで水道消火栓は一八一カ所、海水消火栓は四カ所、消防貯水槽は四十立方米（放水能力三十分）が四カ所、四十立方米以下の貯水槽が四カ所（以上磐城市として施設）が施設されている。

一昨十八日の磐城市栄町朝日製氷工場の火災は消防署の自動ポンプ小名浜消防の消防ポンプ、水素の消防自動車等の活躍によつて他に延焼することなく、製氷会社一戸を焼いたのみで終ることが出来たが、この火事に於て小名浜消防団の消火器具の設備が、市の豫算削減によつて弱体化していることが判明した。

これは小名浜消防団ではかねてより一朝有事に備え、消防団の強化を計るため、市に対しこれの予算処置を要請していたものである。

小名浜消防団第一分団の消防ポンプ購入要請によると、小名浜消防団の現状は第一分団より第六分団まであり、六分団にはポンプが配置されず、第四分団のポンプは江名に於て使用していた中古品を修理して使用に当てているが、有事の場合役に立たないものであり、僅か四台のポンプが有事に備えられているだけである。

朝日製氷の火災の場合は消火栓の施設が一カ所しかないため、消ぼう団では海水を利用、中継によつて辛うじて消火に当つたものであるが、消ぼうポンプの不完備のために、一朝有事を考慮し、火事現場より市役所に直行、昨十九日のポンプ購入交渉となつたものである。

市当局は消ぼう施設に対する誠意がないといきりたつている消ぼう団は、市の誠意ある回答を得たいとして、阿部総務部長を囲み強力な交渉を続け、言を左右にする課長を追求した。

居合わせた小名浜消ぼう団長志賀要平氏が、第一分団と課長との間をとりもち、はやる分団員をおさえて志賀氏より詳細なショウボウの実態を説明、課長を説得し市予算（三〇年度ショウボウ豫算、江名地区、泉地区、鹿島地区各三〇万円、計九十万円）より小名浜ショウボウ団に対して（豫算処置をくずさず）一応泉地区より流用、別途二十万円をネン出、計五十万円によつて即日購入する確約を得たものである。

国民助け合い作文募集入選

たすけあいの精神

小名浜浜第二中学校三年五組

鶴見セツ子

助け合いという言葉にはいろいろな意味がある。都市と農漁村のように物質を交換する経済的な助け合い、昆虫の世界の蟻とあぶら虫のような密接な助け合い。人間同志の助け合い等である。

その中で初めの二つは、完全な利害関係をもつ助け合いである。

都市と農村との間には、純すいな経済的な関係のみがあるし、蟻とあぶら虫にしても蟻があぶら虫を菊やばらの茎に連れていつてやるのは、心から親切にしておるのではなく、あぶら虫からあとでおいしい汁を吸えるという利害関係があるためである。

だが人間同志の場合はどうだろうか。或る一部の人は

「今あの人を助けてやれば、後で助けてもらえる」

と思つて他人を助けてやる人もいるが、そうでなく困つている人を見て

「可愛想で助けないではいられない」

そう云つて助けてやる人もいる。

そのような場合、前者には利害関係があり、後者には愛があると思う。

後でもらう報酬を目当てに助けてやろうとする人には、愛情を見出すことは出来ない。

諺に「良きサマリヤ人」というのがある。純粋な愛情のみで旅人を助けてやつたこのサマリヤ人の助けこそ、現在日本国内で呼ばれている助け合い運動の、本当の意味を持つものではないだろうか。

今私たちの町では、赤い羽根の募金運動を行つているが、それについても考えさせられる問題がある。

「赤い羽根をつけないと恥しくて街を歩るけないから赤い羽根を買つた」

という言葉をよく耳にする。

赤い羽根は献金した印にくれるものである。だが献金したはずの人が「買つた」というのである。「買つた」という人は

「可愛想な人達のために献金してあげる」

と言う気持はないらしい。

唯通行券のように一片の愛もなしに単に赤い羽根を買つたのだ。

それでは助け合いの本当の精神は死んでしまう。人間同志愛情があつて、始めて助けあいの精神が生かされると思う。

今私は小児マヒの少女を助けた少女の話を思い出した。

この少女は、小児マヒの少女を六年間、学校の往復の面倒を見てあげたそうだ。

足の悪い少女からは何の報酬も期待することは出来ない。だがこの少女たちの間には、尊い愛が存在したので、六年間も助け続けることが出来たのだと思う。

よく新聞に美談として、助け合いの話が載せられることがある。そして、助けてあげる人は「あたりまえのことをしただけです」と言つている。

その人は、きつと謙遜していつているのであろうが、私達は他人を助けるのを人間として当然のこととしてすべきではないかと思う。

又物質的に貧しくて

「自分が助けてもらいたいくらいなのに、他人を助ける余裕はない」

と云う人があるが、その人なりに他人を助けてやる方法は多くあると思う。

例えば、適切な助言、親切等愛情のこもつた小さな贈物は、人をどんなに助けるのに役立つことだろう。そう言う精神的なたすけも物質的なたすけに決しておとらないと思う。

又「自分は他人のたすけを一度も受けたことがない」

と思つている人もあるが、そのような人は他人にたすけられているのが、わからないのだろうか、人間は遠い昔から集団生活をして来た。集団生活を営むには自分一人孤立することは出来ない。

現在の社会で生活している人が、直接、関接にたすけられなければ生きて行けない事は当然である。

一人の不幸は社会全体の不幸であることをよく考えて社会を構成する一人一人が互いに愛情を持つてたすけ合つて行きたいと思う。

そうすれば、世の中はもつと明るくなり、人々はもつと幸福になるような気がする。

いづみ牛乳
牛乳で一家楽しく健康に
いづみ酪農組合

日本水素の年末手當
二万八千四百圓要求

磐城市高山、日本水素労働組合は会社に対し、年末手当要求のため昨十九日、午後〇時三〇分より中央委員会を招集し、年末手当の執行部案を同委員会に提案した。

これによつて、各職場会議に於て執行部案が検討され、来る二十四日中央委員会を開き、年末手当執行部案を中心として討議され、正式に年末手当要求額を決定して、二十五日会社に要求し、十一月四日迄に会社側の回答を得る事になつている。

水素労組執行部案の年末手当要求案は、一律一万五千円、基準内賃金一、五カ月、家族一人二千円を年末手当要求算定基準として、手取り二万八千四百円を要求額としている。

なお、同組合は、年末手当支給日を十二月五日に希望して居りこのため強力な斗争を行う事になつた

ガス会社の誘致協議

磐城市議会工場誘致委員会は、明二十一日十時より市役所会議室に於て開催、ガス会社誘致について協議することになつた。

白河市議
小名浜港視察

白河市議会議員二名は二十一日磐城市小名浜港等の施設を視察の為に来市する。

勿來一中の新聞が
最高の知事賞獲得

県並に県教委、地教委連絡協議会主催の、県下中学校新聞コンクール入賞校の表彰式は、昨十九日午後一時から県庁内で行われたが、最高の知事賞は「勿来新聞」を編集発行の勿来市立第一中学校が獲得した。

賞品として「日孔タイプライターZ六一号一式」を授与されたが、石城方部では湯本二中の「すりやま」平二中の「みその」四倉中の「四中新聞」がそれぞれ入選し「謄写板用原紙一箱」を授与された。

近事片々

日本水素小名浜工場労組では、県下のトップを切つて二十五日に、年末手当金二万八千四百円税抜を要求することになつた。昨年よりも数千円増の景気のよさだ。

中元手当もスツタモンダで、やつと済んだばかりのものが多いのにさりとは豪勢なもの、だとうらやましそうに街の群雀のさえずりしきり。

▲

湯本温泉の湯は、従来常磐炭砿の六坑から引湯していたが費用が年間二千四百万円もかかつて問題となつていた。今度は鹿島坑の水野谷から引湯することにきまるらしい。これだと年間一千万円以上の経費節約となつて大変結構な話だが、湯口変更による施設費二千万円をどうするかが今後の問題だ。

▲

永らく病気入院中の立花磐城市長は来月初旬退院の見込みと中田助役は云う。市民は一日も早く病気の全快を望んでいる。

先月初旬退院予定が、永びき、じよ役は先月の市議会で近く退院と言明していたが、それも一カ月延びた。今度こそ本当に退院出来る病状であつて欲しい。

▲

十八日に町制執行の祝賀会をやつた遠野町、近く議会議員の総辞職が内定した。稲の刈上げが済んで秋の収穫の終つた頃の農閑期に選挙を行う豫定らしい。これで合併前の議員がその侭居すわつているのは、勿来市と、四倉三和の三市町村のみとなる。何とかこれらの議員諸氏も考慮されたらよかろう。

潮流

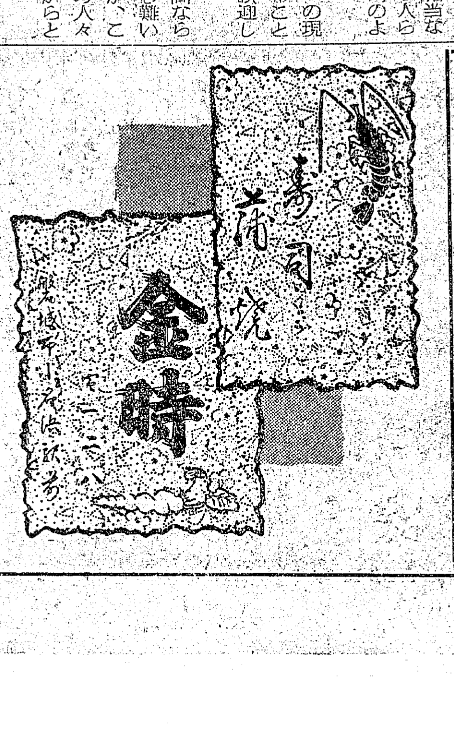
県の最高人事異動後、永らく欠員中の副知事が、今度こそ現労働次官斉藤邦吉氏に決定するらしい。斉藤次官は、手腕家として既に定評のある官僚の逸材だ。相馬出身で、我が第三区から代議士に立候補するとかのウワサが、幾度か伝いられた人である。相馬地区では絶対的な人気を持つているようだ。石城方部にも相当の縁故と徳望があり、関内前代議士は常に「斉藤次官が立候補すればおれは駄目だ。」と述懐つていた位だから、相当な人材であり、強い信望を持つ人らしい。大竹知事の信頼も絶対のようだ。

この人が郷土の為に「次官」の現職を捨てて副知事に就任することは、吾等県民として大いに歓迎してよかろう。始め「副知事は嫌やだ。顧問ならよい」と伝いられた時、度し難い官僚根性だと不快に思つたが、これは本人の意志でなく周囲の人々の希望―止むを得ない事情から判明した。労働大臣小坂善太郎氏は、次官の地位にある斉藤氏の立場を尊重して、県政顧問とするよう強く要望したようだが、斉藤氏自身は、「自分の今日あるは、郷里の人々の賜であり、裸の立場で一県民として県政に尽したい。」と云つている。これでこそ郷土出身の斉藤氏だと思う。赤字財政に悩む本県だ。人情知事大竹氏の片腕として、充分にその行政手腕を発揮して、郷土人の期待に応じてもらいたい。

アンコール号
◇求む優良外務員
6ヶ月拂いで
125CC6馬力 A型 115.000円 B型 105.000円 C型 90.000円
安価
堅牢 大衆車
高橋輪業商會
磐城市上横町電789

ラジオ 電気器具 大売出し
ビクター・サンヨウ・オンキョウ・シャープ
（各種一流メーカ品揃えました）
小磯ラジオ店
磐城市磐城座通り 電七一四番

内科 小児科 皮膚科 X線科
高木醫院
磐城市定西五（本局入口前）
電話四一九



★買つて徳用
★使つて経済
本場 石川木炭
各種民需・御用命御待ち致して居ります
磐城市竹町七五
デンワ一七二バン
佐久間商店

終戦前後の想い出 ⑥

北尾政吉

さて真岡に上陸した吾等一同は、市街経由徒歩にて宿舎え進行したのであるが、監視兵は吾等に対し「歩行中は横見せず前方のみ見て進め。」と特に注意を与えた。

然し横見したいのは誰も同様で、そのべつ見記を少し書いて見ましよう。

真岡港より宿舎迄は約三十分の歩行であつたから、その距離は約二キロ位と思われた。その宿舎は前の真岡高女校の建物を改造したものと窃かに聞いた。

宿舎行の道路は、広々とした三〇間道路であつた。この附近の建物の大部分は、大きさ、高さ、建型等は大体に於て標準型のように観測された。

◎

ここに特筆すべき点は、各建物に取付けた統一せる看板であつた。その看板は長さ約一メートル、幅約2/3メートル位で、一定寸法の硝子の裏面より金、銀等のハクの焼付仕上げにて、最新モダン的且つ美術的な書体を以て大、小取交ぜ、縦横に意匠をこらしたる実に感服すべき看板であつた。

その外観同一の看板を額縁付として、出入口のすぐ上部に各家屋共同一の位置に取付けられてあつた

ソ連では広汎なる諸機関、企業者が、殆んど全部的に国営なるが故に、それ等の統制上には或は便利かも知れぬ。

いよ〳〵吾々は真岡え到着した。さすが、解放者綜合収容所だけあつて、その集団的人々のざわめきはまた物凄いものであつた。

事務室の二階からはスピーカを以て日本語で、口調明瞭に相当長時間に亘つて、朗読的の口演が行われて居つた。それはソ連監視者の命によつて、元中学教員の某氏が忠実的に服従しての日本語の放送で、その内容は共産党の歴史であつた。

宿舎の周囲は元学校の運動場の事とて平たんなる広場があり多数人員が集散移動せるに拘らず、その広場の空地には塵芥、紙片等のごみ一つ見当らず、それ等は各所に芥箱を備え付け、厳格に散乱を防止せし関係と思われた。

特に驚異的の感想としては、即ち宿舎附属の便所である。同便所は宿舎建物より約二町程離れた郊外地にありて、男女共同時に数十名が用便し得る仮設的便所であつて、その大、小便の排せつ物が用便者の眼下に於て、約五メートル下に落下し、その全排せつ物は便所より約五〇メートル離れたる処に、深さ五〇メートル位の大くぼ地に誘導され、自然的に消滅せしめる所置が採られて居つた。

斯うして置けば一々汲み出しの手数も要せず、それは大国的なやり方だと私は感を深めた。私はソ連人の構想が、邦人の想像以上にぼう大なるを示す一端として書き置く次第である。

同宿舎には約三日程を過ごして、漸く待望の出迎え日本船が到着した。いよ〳〵乗船前になると、また手荷物検査が厳重に実施され、貴金属の海外持出しは厳禁、且つ没収される事になつた。

吾人は漸くリユーツサツクと布団一枚程度で送還、開放されたのであつた。

交通道徳の高揚
思想普及の徹底
明日から交通安全旬間

明二十一日より三十日まで昭和三十年度全国交通安全旬間が行われるが、磐城警察署は全国交通安全旬間中、市民の交通道徳の昂揚を計り、この思想普及の徹底を期するため左の行事を行う。

▼交通道徳の主旨徹底を計るため、宣伝カーを以て市民に呼びかける。

▼交通安全を期するため、交通に関する相談所を開設、市民一般の交通に関する相談を行う。

このために二十三日、二十六日、三十日の三日間、午前八時三十分より、本署交通課窓口に於て行う

これと併行して移動相談所を市内すまや角、小名浜臨港鉄道前、水素前バス停留所等に設ける。

そして交通に対する市民の要望の声を聞き、警察と民衆とが直結して交通安全の実をあげるなど、新しい試みを計画している。

▼小、中、高校に於て交通に関する講演を行い、交通安全機関の設置と、児童の交通安全運動の活動の資料としてこれが促進を計る

▼其の他商工関係者、自動車営業関係者と懇談会を開き、さらに交通安全の実績を上げることになつている。

▼二十三日には交通安全旬間の宣伝のため、オートバイ二十台で宣伝隊を編成し、市内行進をする

おを、二十一日より行われる交通安全旬間を前に、磐城警察署交通課遠藤警部補は次のように語る。

交通の安全は一般に車のみの取締りで、その徹底を期せられるように考えられており、交通道徳の昂揚は、車が対象されがちであるが、歩行者の交通道徳が交通事故の防止に重要な役割を果すことになる。歩行者の正しい横断、右側通行の実行を御願いしたい。

自転車は一列になり左側を通行する。こうしたことにより事故は未然に防止される。

今後も機会あるごとに啓蒙して行き、交通道徳の昂揚を計りたい。

漂流船成田丸
無事救助さる

既報、昨十九日綾里崎沖合南西十八マイル附近で機関故障のため漂流中で安否をきずかわれていた小名浜港第一成田丸（三五トン）は、巡視船かわちどりに救じよされ同日女川港に無事入港した。

椅子・修繕・張替
三光椅子店
磐城市学後宿二三

秋深く読書シーズン
小名浜圖書館の現状

天高く馬肥え燈下親しむ候と秋の盛り、若い人々の読書の欲求が旺んになつて来た折、磐城市公民館附属図書館は今整理に大わらわである。

この図書館の誕生は昭和二十四年現在の平公共職業安定所小名浜分庁舎に、町立図書館として、専従職員一名がついて、広く一般に解放しながら図書館活動を行い、市文化の向上に寄与して来た。

その後公民館の新築にともなつて公民館の二階に、一二坪の一室を解放して現在に至つている。

現在の図書館の蔵書数は約二、一〇〇冊にのぼり、内容は文学全集が約二割、その他は郷土資料、辞典物、月刊本、化学雑誌等で、専門書といつたかたくるしいものは極力避けられている。

毎月七十冊からの新刊本が補充されており、室内閲覧は無料であるけれど、現在は市の予算の関係から専従職員を置いていないため、貸出しは原則的に行わない現状にある。

貸出しを行わないと充分利用されないので、今後は各サークル単位に巡回文庫を廻して利用されるように公民館の関係者は望んでいる

県下に誇る圖書室
小名浜一中の完全な設備

県下の中学校に蔵書数、設備の完全を誇る校内図書室は小名浜第一中学校であろう。

第一中学校の第一、第二校内図書室は、約二〇[illegible]、蔵書数は六、三〇〇冊の多数を完璧な管理のもとに蔵している。

先ず入室して驚くのは、縦横五、七尺の大書棚が九個、十二、七尺×[illegible]が室の中央に大テーブルを備え、閲覧する生徒のために座り心の良い腰掛五四個と採光の良い周囲窓際には小書棚があり、生徒用机が九個、落着いた環境を尚一段と引入れるように備えられて居る。

同校の図書館活動の方針は、教育過程の展開と、生徒の興味欲求と読書能力とを勘案して図書選定の目標とし、人格が調和的に発達して良い適応性をもたらし、自主的学習態度及び探求的生活態度を養い、良い読書の習慣、図書を愛する心と共に、良い図書を常に選ぶ能力を養い乍ら、文学に対する豊かな鑑賞力を身につけて、民主的なよい市民性を培うことを目標としているので、図書室の運営もすべて生徒が自主的に行つて居る。

運営の中心になつているのは、各クラスより一名宛選出されて居る図書委員の四十八名であり、PTA側よりかぶら木かほるさんが補じよ員として、陰に陽にこの機関のスムースの運営に力をかしている。

閲覧時間は放課後五時迄であり、図書貸出は、土曜日に貸出し、月曜日には必ず返却させることにしてある。

全校一、三〇〇名の生徒に一番良く読まれる本は、少年少女の文学小説が圧倒的人気があり、それに続くものは、偉人伝記小説、例えばキューリ夫人といつたもので、学習用参考書、美術関係の図書がこれらに続いて生徒の手あかで表紙がよごれている。

図書は毎月約一五、〇〇〇円位購入され、市、PTA、生徒会の費用で賄われている。

図書室係の小野二男先生は「図書室で落着いて読書している生徒には、悪い遊びをする生徒はありません」と図書館活動を通じての教育効果の一端を語つていた

サンマの市場難感
一聲できまる安値

本日小名浜魚市場のサンマ水揚量は、五二、一〇〇貫で少いほうだ

サンマ洪水の魚市場から拾つた話

市場前の車輌数が多いので、磐城署は一方交通で、空車は東側より入つて積荷後は、西を廻つて線路を踏切つて街に出るように励行している。

磐城第二貨物の或る若い運転手は大廻りすると積荷の場所まで順番が来るのに時間がかかると思つたのか、この規則を守らず西側より市場に入つて行つた処が。

入つて市場の1/3位まで来たらサー大変‼

入ることも、出ることも出来ず規則通りの車の運転手から大声出されて立往生、守るべきは規則かな

▲サンマ安値の大暴落の一コマ

「サーいくら」かけ声かけても買手が集まらない。

後から一声「いんよん」‼一四円‼と声がかかつたのでカギ打は「いんよん〳〵」と声をからしてやり声をかけても、その後だれも買手の声が出ない。

たつた一声で四、五〇〇貫がとりひきされて行く、船主の胸中が想像される。

▲市内中通りの或る船主今年は大型新造船がどうしてもサンマ漁には必要と、無理算段して二、三〇〇万円を投じてやっと出漁にまにあつて、初満船で船足重く、のぼりをあげて入港したとたんに、値代は十四円でやっと十四万円になつたとか投じた資本からみて一寸考えさせられるバカ値が今年の大漁貧乏の実態らしい。

サンマ水揚
狀況見学

茨城県磯原町華川小学生約三〇名は、来る二十二日小名浜市場にサンマ水揚状況の見学に来る予定になつている。

映画で募金
公使會主催

磐城市公使会（磐城市役所内）は創立一週年を迎い、来る二十三日江名の江栄館、江の浦名画座に於て昼の部、夜の部二回に亘り映画鑑賞会を催す事になつた。

これによつて得た利益は「赤い羽根」共同募金に寄附することになつている。

この公使会は市役所、支所、学校の使丁で結成されて居る。

なを、当日の映画は「広島」「女人の館」等ニユースを上映する事になつて居り、地区市民の多数来館を希望している。

風雨注意報
今朝小名浜測候所で発表

本日午前六時風雨注意報が小名浜測候所から発表された。

「台風は当地方南方を通る見込で今日日中から今晩にかけて、北東の風雨が強まり、最大陸上では一〇米—一五米、海上では一五米—二〇米に達し、降水量は五〇粍乃至七〇粍の見込です。

沿岸では風波、うねりが高くなりますから、今後の気象通報に充分注意をして下さい。

▼二十六号台風情報▲

午前十一時現在紀伊半島北東、東経一三五、一度、北緯三三、五度中心示度は九八〇粍バールで、毎時五六KMの速度で北東に前進している。

魚菜市況

■鮮魚　小名浜魚市場

さんま三〇—一五

■青果　小名浜中央青果市場

卵一四、五〇—一二ねぎ二三〇—
七〇玉ねぎ六〇—五〇人じん一四
〇—五〇ごぼう九〇—三〇馬鈴し
よ四〇—三〇さつま五〇—三〇里
いも七五—六〇大根五〇—二〇丸
大根五五—四〇ほうれん草二—一
三〇菜九〇—八〇きうり一五〇—一
五〇なす四〇—二〇白菜五五—三
〇もやし八〇—五〇切いも一五〇
—一〇〇菜三一—一

天氣予報

【今晩】東寄りの風やや強く、雨後時々くもり。

【明日】北後西寄りの風、始めやや強く、くもりで始め雨ののこる処もありますが、後時々晴れましよう。

【明後日】西よりの風、晴れ、時々くもり。

【海上】今晩は可成りしけますので、各漁船は充分注意して下さい明日は始め風浪は高いですが、次第におさまりましよう。

新選組追撃
大友柳太郎
千原しのぶ
月夜の傘
田中絹代
宇野重吉
19→23まで
キンビ館

場外売場　福島　郡山　若松　平
平競輪
車券発売10時30分
10月（後期）
22日 23日 24日

平の人氣！皆様の食堂‼うまい安い
また御座敷を擴張致しました
江戸前すし
和洋料理
中華料理
富士食堂
平市材木町（しみづ薬館前）
電話（平）一五八・五七七番

内科
小兒科
X線科
賀澤醫院
磐城市花畑三七
電話二九三番

疊表替の好季が参りました
本年度のリユウ球表の出来は大豊作にて品質優秀で格安です。！
大分県　琉球表
廣島　岡山　備後表
上敷　ゴザ　うすべり
その他附属品一式を取揃えて目下特売中
寒さに備えてもつとも経済的な
▲煉炭及豆炭を御使用下さい。
驚く程燃料のいらない
新案特許　東和カマド
火力強大！保温絶大！
時間経済！簡便重寶！
電話67を増設いたしました
合資會社　榮屋商店
磐城市古湊商店街67　電話3番 67番
營業品目
砂糖　小麦粉
水飴　食油
畳表　石鹸
紙　荒物
レン炭　かまど